



富士の学び舎 園だより(3月号)

たもんのこ



令和7年2月27日

認定こども園

世田谷区立多聞幼稚園

園長 山路 智之

子どもたちが様々な力を獲得し、豊かな栄養源となる園を目指して

園長 山路 智之

2月末になっても朝晩の冷え込みが厳しい状況ではありますが、チューリップや水仙の球根から出た芽がふつくと生長し始め、春の足音が聞こえてくる季節になってきました。

6月から始まった3歳児プレ保育に通ってきている子どもたちも、3学期からは週4回の登園となりました。お弁当持参の3歳児の子どもたちは、昼食の時間になると♪おべんとう おべんとう うれしいな♪と先生と一緒に歌いながら、お家の方が作ってくださったお弁当を楽しみにしている姿が見られます。多聞幼稚園は給食園になり、間もなく10年目を迎えます。私も担任時代は子どもたちと一緒に弁当を食べていたので、お弁当を食べている様子がとても懐かしく、毎日お弁当を作っていた頃を振り返ると、給食園っていいなと感じます。

今年度の教育活動改善のための園評価の結果から、評価を得た項目の一つに、「園は、直接体験(野菜の栽培、サツマイモ掘りなど)や給食時の指導、栄養士の食育指導を通して食育活動を進めている」があります。

幼児の生活は、そのほとんどは興味や関心に基づいた自発的な活動からなっています。この興味や関心から発した直接的で具体的な体験は、幼児が発達する上で豊かな栄養となり、様々な力を獲得していきます。だからこそ、幼稚園では、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活を大切にしています。

しかしながら、本園の自然環境を見てみると、木々や植物が少なく、子どもたちが自然に触れて遊ぶ中で、全身で自然を感じ取る体験をもつことが十分ではありません。プランターや土のう袋を使つての栽培計画や季節の変化が感じ取れる場面を作るなどの工夫に留まっている現状があります。

そこで次年度より、子どもたちがさらに様々な生き物と出会い、自然との関わりを楽しんだり広げたりするための園庭環境を見直す取り組みを東京都の子供政策連携室の事業「とうきょう すくわくプログラム」の研究として進めていきます。

次年度も子どもたちの日々の体験を重ねながら、『わくわくがいっぱい 笑顔があふれる幼稚園』を目指し、保護者、地域の皆様と連携・協働しながら『笑顔つながるたもんのわ』が広がる教育活動を進めていきたいと思っています。

今月、各学年で、大切にしたいこと

<年少>○いろいろな活動を通して、進級することへの期待や自信をもてるようにする。

○身近な自然の変化を感じ、興味や関心をもてるようにする。

<年長>○今までの経験を生かし、一人一人が自己を発揮するとともに、友達と受け止め合いながら自信をもって遊びや生活に取り組めるようにする。

○自分の成長を喜び、1年生になることへの期待をもてるようにする。

<安全指導>

生活習慣

年少○安全な生活について約束を守る。 ○春休みの安全な過ごし方を知る。

年長○春休みの安全な過ごし方を知り守る。

○危険に出会わないようにするために必要なことを知ったり、自分が行動したりする大切さが分かる。

交通安全

年少○交通ルールを自分から進んで守ろうとする気持ちをもつ。

年長○交通ルールを進んで守り、就学に向けての意識をもつ。

<避難訓練>

○放送や教師の話を聞き、状況に応じて落ち着いて行動する。

